

**製品名: FER マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80608**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	95kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FER
別名	TYK3; FER
遺伝子 ID	2241.0
SwissProt ID	P16591
免疫原	大腸菌で発現したヒト FER の精製された組み換え断片。

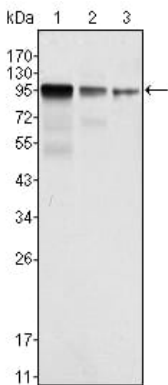
**背景**

FER (fer チロシンキナーゼ) は、機能ドメインを共有し、受容体チロシンキナーゼ (RTK) およびサイトカイン受容体を介したシグナル伝達経路に關与する、非膜貫通型受容体チロシンキナーゼの FPS/FES ファミリーのメンバーです。Fes/Fps ファミリーは c-

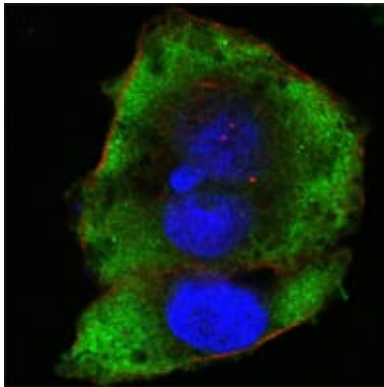
Src、c-Abl、および関連する nRTK とは異なり、もともとレトロウイルス性腫瘍タンパク質のホモログとして区別されていました。生体内では、Fer キナーゼは保存されたコイルドコイルドメインを介してホモ三量体を形成します。Fer の N 末端コイルドコイルドメインはトランスに自己リン酸化することができ、それによって異なるリン酸化状態を介して細胞機能を調節します。成長因子への曝露は、Fer のチロシンリン酸化と、p85 を含む RTK 複合体への Fer のリクルートメントを誘導します。Fer は主に顆粒球系および単球系の成熟造血細胞で発現しており、血管内皮細胞でも発現することが示されています。Fer はインスリンシグナル伝達、細胞間シグナル伝達、ヒト前立腺増殖性疾患に関与し、G1 期の進行制御にも関与しています。

## 研究分野

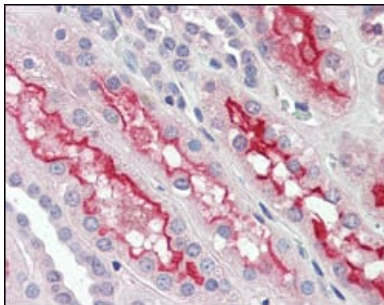
## 画像データ



NIH/3T3 (1)、A549 (2)、SK-MEL-5 (3) 細胞溶解物に対する FER マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



FER マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



FER マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。